

教育福祉常任委員会会議記録

1. 期 日 令和元年8月23日(金) 開会 13時00分
閉会 13時08分
2. 場 所 第1委員会室
3. 付議事件 子どもから高齢者まで移動が困難な町民の生活を支える仕組みについて
4. 出席者 渡辺委員長 露木副委員長 松崎委員 小笠原委員 前田委員 一石委員
野地議長
傍聴議員 0名
一般傍聴者 0名
議会事務局 3名(局長、庶務課長、主事)

5. 経 過

子どもから高齢者まで移動が困難な町民の生活を支える仕組みについて

委員長 子どもから高齢者まで移動が困難な町民の生活を支える仕組みについて継続調査についてである。その他について特にご提案がなければ、さっそく継続調査に入りたいと思うがよろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長 それでは継続調査の報告について9月議会に向けての報告について骨子を読み上げ提案をさせていただく。

(「継続調査報告2019年議会(骨子)資料」に基づく説明)

松崎 私は選挙前から交通弱者という言葉を使っており、特に百合が丘は深刻な状況にあると訴えてきた。そういった経緯があり、今後一般質問等で私個人としても一議員として、この問題に取り組んでいきたいと思っている。これから委員会としても、積極的にこういった問題に取り組むということで、委員会のメンバーでもあり同時に一人の議員でもあるので双方で矛盾ないよう心がけながら、気を遣いながらやっていく。この場で個人として同時進行していくことを皆様にご承知おきいただきたいと思い説明させていただいた。これは質問ではない。

委員長 それに関しては議会と議員との関係になるが、委員会での継続調査が議員の活動を制限するものにはならないと考えるので、進めていただければどうかと私は思う。

野地 町民としても非常に重要な課題であると認識している。委員会として現在進んでいる報告を聞いて、非常に積極的に進んでいると感じている。これから継続するということでぜひ続けたいと私も思っている。先日、学識的経験者の話を聞いたが行政だけではなかなか進まないという点があり、社会福祉法人、地域の動き、町民の方の動きも絡んでくる事項になるのかと思っている。学識経

験者の話を聞きながら、視察を進めながら、そのへんを頭の隅に入れながら広くこの課題に向き合っていきたいと感じているので、ぜひお願いしたいと思っている。

委員長

他に意見がなければ質疑を終わりにしたいと思う。それでは、この内容で9月議会に報告させていただくがよろしいか。

(「異議なし」との多数の声あり)

この内容にそって9月議会で報告させていただく。これで教育福祉常任委員会を終了する。

閉会 13時08分